

## 大腸癌研究会

### プロジェクト研究「右側結腸のリンパ節郭清に関する研究」第2回委員会： 研究計画の打ち合わせ議事録

開催日時：2019年7月4日（木）14:00～15:00

開催場所：浜松町コンベンションホール 6階 大会議室A

14:10～14:21 プロジェクト委員長（埼玉医科大学国際医療センター 山口茂樹）より、挨拶ならびに研究の主旨・概略の説明。

14:22～ 研究実施計画書に関する説明と質疑応答。

## 質疑応答

- ・各施設でのIRBで承認されるのに必要な期間は？（山口茂樹）  
→ 3か月が多い（会場）。
- ・各施設でのIRBで承認されるにはCRBである埼玉医科大学の承認が必要な施設は？（山口茂樹）  
→ 必要な施設が多い（会場）。  
当院での審査通過（9月予定）後、3か月くらいからの開始となる施設が多い見込み。
- ・CRFに記載する項目に関して
  - ・上行結腸の占居部位を3分割にするか？（山口茂樹）  
→ 駒込病院で検討した経緯があるが、現在行っていない。
  - ・記載は、肝彎曲近傍・回盲弁近傍・中間部でいいか？（山口茂樹）  
→ 反対意見はなし。
  - ・術中所見での右結腸動脈の有無の記載を加えるべきでは？（大阪国際医療センター 安井先生）  
→ 独立したRCAの記載は行う。（山口茂樹）
  - ・基礎データでのgenetic status（MSIなど）の記載を加えては？（広島大学 惠木先生）  
→ 限られた施設となるが、測定結果があれば記載を加えることは可能。（山口茂樹）
  - ・ICAの走行の記載。SMVとの関係も記載すべきでは？（東京医科大学 石崎先生）  
→ CT画像から記載を加える。（山口茂樹）
- ・ステージIV症例も加えた方がいいのでは？（神奈川県がん 塩澤先生）  
→ 前回議論しましたが、原発以外からの転移の可能性が加わり複雑になる可能性

があり、今回はステージIVは除外する。(山口茂樹)

- ・ CT 画像の匿名化は各施設で可能か？(山口茂樹)
  - 大丈夫か施設が大半(会場)。
  - 困難な施設は連絡してもらい個別に検討。(山口茂樹)
  
- ・ プロトコールの原案に関して、
  - 8 ページの 4-3 に、pN3+症例・再発症例を加えてほしい。データの保存期間の明記が必要。CD-R の保存期間、画像の中央判定に関してもプロトコールに記載が必要。(静岡がんセンター 塩見先生)
  
- ・ リンパ節のプレパラートでの大きさの測定について？(済生会栗橋病院 吉松先生)
  - 可能なかぎり、お願いします。(山口茂樹)
- ・ ホルマリン固定後の大きさでよいか？(済生会栗橋病院 吉松先生)
  - 現実的に固定後になる。(山口茂樹)
  
- ・ ICA まで郭清している施設では、摘出リンパ節を ICA 根部と I C V などに細分化して記載する必要があるのではないか(東京医科大学 榎本先生)
  - 203 の範囲は各施設で異なるので細分化した記載は困難と思われる。今回はリンパ節転移の部位は CT にて判断する。(山口茂樹)

14:51～ 閉会の辞

今後研究実施計画書を各施設に送付し、不備があれば連絡いただく。  
他に参加していただける施設があれば加わってもらおう。